

目標達成計画

作成日: 令和2年 4 月 20 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	過剰介護を理解しながらも必要以上に介護してしまうことがある。	利用者の持てる力を見極め、見守りのケアを含め統一した支援を提供する。	勉強会やカンファレンスを通じて介護スキルの向上と利用者それぞれの能力の見極めを行う。	随時 1年間
2	35	・災害に備えた備蓄ができていない。 ・防災訓練に外部の方の参加がなされていない。	・3日分の備蓄をする ・防災訓練に外部の方の参加の協力を呼び掛ける。	・3日分の備蓄についてリストを作り職員間で共有する。 ・防災訓練に家族の参加や防災業者の協力を得た訓練を行う。運営推進会議を利用する。	随時 1年間
3	6	身体拘束についての指針ができていない。	・指針を策定し玄関に掲示する。 ・不適切なケアに気づいたときはすぐに検討する。	・身体拘束の指針を策定する。 ・朝、夕の申し送り時にケアに関して気づいたことがあれば、そこで検討する。	1ヶ月 随時
4	36	声掛けや不適切なケアについての振り返る機会をつくらせていない。	・不適切なケアについて全スタッフで振り返る。	・勉強会を利用し、スタッフ自身で不適切なケアについて意見を出し合い、ケアの向上を行う。	1ヶ月 随時
5	33	新しいスタッフが入ってきているが、AEDの講習ができていない。	・AEDの研修を行う。	・AEDの保守を行っている業者を通じて講習を行う。	1年間
6	4	運営推進会議に利用者の家族が参加できていない。また、事故報告や身体拘束について施設の取組を説明しているが議事録にしていない。	・運営推進会議に家族に参加していただく。 ・議事録に関して、議題の部分だけでなく、施設からの報告の部分も記録に残す。	・家族に会議への参加を呼び掛ける。 ・報告部分の議事録も残す。	次回から
7	45	利用者、一人ひとりに応じた入浴支援充実を図る。	・利用者の満足のいく入浴を行う。	・利用者から入浴について聞き取りを行う。 ・果実や草花を浴槽に浮かべ、例えば5月にはしょうぶ湯を、12月にはゆず湯を、その季節を感じてもらう。	1ヶ月間 随時

8	40	<ul style="list-style-type: none"> ・食材の購入や、専門店からの茶葉の購入について家族に伝えることができていない。 ・検食の記録が残されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の取組について家族に発信する。 ・検食の記録を残す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月のお手紙を通じて施設の取組について伝えていく。 ・検食の記録を残す。 	1年間 随時
9	2	小・中学校のナイスライや体験学習の受け入ができていない。	体験学習の受け入れを行う。	地域包括を通じて校区内の学校と関係を構築し、「体験学習などの地域貢献を行う。	1年間
10	52	壁面に飾ってある写真や利用者の作品に日付けを記す。	壁面に飾ってある写真や利用者の作品に日付けを記す。	壁面に飾ってある写真や利用者の作品に日付けを記す。	随時

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。